

第32号

平成19年

4月23日

すまいるたうん



汐入

発行元
東京新聞
南千住東口専売所
TEL5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

アフターケアは万全 自転車職人、 (有)田上モーターズ

「昔、『ここら辺は東京府下北豊島郡南千住町千住南って呼んでいた』とおやじが言っていました。」

(有)田上モーターズは(有)田上自転車店として大正11年創業。当時は間道(南千住警察署前の通り)に馬車が走り、王子製紙の千住工場(現アクロシテイ)がありました。自転車は高級品で、2〜3台売れば十分に生活ができ、パンク修理代は3銭でした。自転車を部品から組み立てられるようになるまで5年かかるそうで、そんな職人さんも常時3人おりました。

田上仁三郎さん(78歳)は6人兄弟の4番目。安田工業高校から学徒動員で勤労奉仕もしました。忙しい店を手伝って後を継ぎ、昭和35年に(有)田上モーターズとしてオートバイも扱うようになりましたが、間道の道路拡張によりオートバイが置けなくなった為、現在は自転車だけが扱っています。奥様の美代さんも自転車の娘、夫婦揃って子供時代から自転車と慣れ親しんで来ました。

「国産車に乗っている人は外国製の自転

車には乗れないって言っているよ。」

近年の激化する価格競争の影響で、最近の価格の安い外国製の自転車が数多く出回っています。結果、品質低下が問題になっていきますが、田上モーターズさんのような自転車屋さんで扱われている国産車の自転車と何処が違うのでしょうか？

まず、部品の質が違います。輸入車のリムは軽合金なので黒くなりますが、国産車はステンレス製なので変わりません。また、国産車はチェーン止めが両方についているので、チェーンが外れることはありません。スポークもきちっと固く、輸入車のようにグニャつとすることはありません。リムにタイヤがぴたりとついています。

そして、田上モーターズさんのような自転車屋さんで買うとアフターサービスが万全です。買ったばかりの外国製の自転車が、すぐ壊れても直してもらえなかったケースもあります。自転車は車両です。1回の販売で終わる商品ではありません。普通に乗っているだけでもタイヤ・ブレーキワイヤー等は消耗し、あらゆる箇所のネジはゆるんでくるのです。そして、そのままにして乗っていると重大な事故を招く原因となります。永く安全に乗り続けるには、整備・点検が必要です。

つまり、自転車はアフターケアが非常に重要な商品なのです。だから取り扱う販売店には確かな技術が要求されます。

自転車を大事にされる方は、雨除けのカバーもかけ、ルールを守り、放置することもしません。現にケアをしつかりして、国産車を30年以上も乗り続ける方もいます。田上モーターズさんではご購入者が安全に乗れるように、無料で空気入れや整備・調整もなされています。

かつては南千住に46軒あった自転車屋さんも今は4軒になってしまいました。田上仁三郎さんは町会長をはじめ、祭りの総代など会長職にも数々ついでおり、多大なる地域貢献で総監賞もいただきました。奥様の美代さんも警察関係などボランティアの仕事で飛び回っており、夫婦とも人望のある方達です。車イスの方に空気を入れてあげ、手を合わせて喜ばれたこともありま

す。使い捨てでなく、一生付き合う自転車を、信頼のおける(有)田上モーターズでご相談されてはいかがでしょう？

(有)田上モーターズ
南千住1-43-2
(南千住郵便局向かい)
TEL (3807) 6151
日曜定休
営業時間 AM9時~PM5時
AM9時~PM4時 (土曜)